

## 平成4年度通常総会議案について

平成4年度通常総会は去る4月24日に開催され、以下の総会議案がすべて原案どおり承認されましたのでお知らせします。

### (第1号議案)

#### 平成3年度事業報告

#### I 事業の概要

##### 1. 研究発表会

(1) 5月8日、9日の両日、北九州市立戸畑市民会館において、第69回研究発表会を開催した。

• 特別テーマ「地域活性化とOR」

• 特別講演

1) 地域活性化とOR

—北九州ルネッサンス構想—

末吉興一(北九州市市長)

2) ORの一層の発展をめざして

梅沢 豊(東京大学教授)

3) スペースワールドの概要とその社会経済的意義

奥山敏弘(スペースワールド㈱取締役副社長)

• 発表件数 122件

一般発表 107件(内部会報告 1件)

ペーパーフェア 15件(内部会報告 7件)

• 参加者数 288名

また、10日には㈱安川電機製作所モートマンセンター、スペースワールドを見学した。

(2) 10月16日、17日の両日、関西大学において、第70回研究発表会を開催した。

• 特別テーマ「経営の国際化」

• 特別講演

1) 企業経営 今 これから —経営の国際化—

川上哲郎(住友電気工業㈱会長)

2) 経営の国際化時代の組織知能と戦略情報システム

松田武彦(産能大学学長)

3) グローバル生産の課題

—欧米日系企業実態調査からのメッセージ—

藤田彰久(関西大学教授)

• 招待発表

1) 線形計画問題を解く点列を使った内点法につ

いて 水野真治(統計数理研究所)

2) 志願校併願 データから導かれる受験生の大学・学部に対する選好 田口 東(山梨大学)

3) 教育施設の配置・移転と学区割り編成に関する研究 川中子敬至(足利工業大学)

矢部 真(工学院大学)

4) 鉄鋼製造プロセスにおけるトライ選択問題への多目的計画法の応用

上野信行, 中川義之, 徳山博子(住友金属工業㈱), 中山弘隆(甲南大学), 田村坦之(大阪大学)

• 発表件数 109件

招待発表 4件

一般発表 105件(内招待発表(2) 8件)

ペーパーフェア 4件(内部会報告 4件)

• 参加者数 318名

また、18日には住友金属工業㈱システムセンター、㈱日本総合研究所、アサヒビール㈱を見学した。

##### 2. シンポジウム

(1) 6月7日、筑波大学大塚キャンパスにおいて第25回シンポジウム「待ち行列—モデリングと解法—」を開催した。参加者は79名であった。

(2) 10月15日、関西大学において第26回シンポジウム「戦略情報システム(SIS)の展開」を開催した。参加者は143名であった。

##### 3. 特設研究部会(数理計画法研究会)

(主査: 今野 浩(東京工業大学) 幹事: 真鍋龍太郎(文教大学), 田辺國士(統計数理研究所), 古林隆(法政大学), 茨木俊秀(京都大学) メンバー: 26名 開催: 9回)

月例研究会、RAMPシンポジウム、RAMPセミナー等を通じて、数理計画法の理論、応用、ソフト開発等に関する研究普及活動を行なった。また、会の運営にあたっては、若手研究者育成のため、特別な配慮を行なった。

4. 研究部会

研究部会・研究グループ終了/中間報告

◎印 終了を示す \*印 研究グループを示す ☆印 常設部会を示す

部会名	主幹 査事	メンバー	開催	内容	場所
☆待ち行列	川島 武 (防衛大学校) 高橋 敬隆 (日本電信電話)	26 名	11 回	当研究会は概ね1カ月に一度、約30名の出席者を得て行なわれている。内容は基礎的な理論の紹介もあるが、BSIDN網、およびそこに用いられるATMの評価等に向けられた応用研究が中心的なテーマとなっている。	東京工業大学
☆OR/MS とシステム・ マネジメント	松田 武彦 (産能大学) 山田 善靖 (東京理科大学)	24 名	5 回	本研究部会はORを広く経営問題解決技法の体系として捉え、経営戦略、経営計画、組織科学においてORの考え方がどのように関わるかを研究し、討論した。特に組織の知能を高めるためのORの役割、情報システムの役割について検討した。	東京工業大学
◎数理モデル とその周辺	児玉 正憲 (九州大学) 時永 祥三 (九州大学)	16 名	26 回	部会発足から3年間にわたり26回の研究会を開催し、経済学、経営学、数学、工学、およびその他の分野の研究者より、非線形モデル、確率モデル、ソフトウェア開発、マルコフ決定過程などの発表が行なわれた。	九州大学
◎CIM・FMSの管理技術	黒田 充 (青山学院大学) 鈴木 久敏 (筑波大学)	26 名	10 回	同一名称の日本経営工学会の研究部会と合同で、毎月、CIM・FMSの管理技術を、研究者と実務家が理論と応用の2つの視点から意見交換することを目的に、青山学院大学で開催。平成3年度には日本経営工学会と合同でCIMシンポジウム「CIMアーキテクチャとメソドロジー」を開催した。	青山学院大学
OR広報	森村 英典 (筑波大学) 真鍋 龍太郎 (文教大学)	8 名	10 回	ORを上司や、経営者、あるいはもっと広く学生や一般に、本来の姿を理解してもらえようような広報のありかたを検討し、さらに、そのひとつの方法として、OR活動の典型的なパターンをいくつか示し、それに沿って事例を提示することを提案した。	日本総合研究所
◎交通経営	矢島 謹一 (国士館大学) 小笠原 清 (国士館大学)	15 名	11 回	交通運輸に関する研究団体は、わが国だけでも30以上はあると思われるが、わが国の公共交通機関の経営問題を考えるとき、さらにORの立場からの研究の推進と国を挙げての交通政策の充実の必要を痛感する。	東洋経済新報社
◎合意形成と 対外政策	荻野 正浩 (21世紀政策研 究会) 片山 隆仁 (防衛庁)	20 名	10 回	政策決定における合意形成活動は、政治・経済・軍事力の均衡葛藤の中での重要課題との考えにもとづき、部会の発足直後に勃発した湾岸戦争における国連・米・イラク、そしてわが国の対応策を好個の事例として研究した。	三菱総合研究所

部 会 名	主 幹 査 事	メンバー	開 催	内 容	場 所
最適化とその応用	加藤直樹 (神戸商科大学) 木庭 淳 (神戸商科大学)	13 名	6 回	企業の方には現場における最適化手法の適用例を発表していただき、大学の方には最適化理論の最新の成果について発表していただいた。なお本年2月号に研究部会で発表していただいた方から6件を選んで特集として報告していただいた。	帝人ビル 大阪市立大学 大阪大学 神戸市教育会館
確率モデルにおける最適化	木島正明 (筑波大学) 田村明久 (東京工業大学)	13 名	9 回	数理計画法や確率解析の共有している問題・境界領域またはそこから派生する新しい問題について各分野固有のアイデアや理論の交流・理解を深める場を、若手研究者・学生を対象に与えている。	東京工業大学
ORの計算環境	関口恭毅 (北海道大学) 木村俊一 (北海道大学)	10 名	8 回	理論・応用の両面から、ORの研究・実施のための計算環境は如何にあるべきかを検討課題として情報交換と討論を行ってきた。本年度は組合せ最適化に関する話題が4件と、開催回数半数を占めた。	北海道大学
◎最適化モデルとその周辺	久志本 茂 (金沢大学) 菊田健作 (富山大学)	19 名	4 回	最適化モデルに関する研究の広い分野での発表を行なった。その内容は、意思決定支援システム、ファジィ理論の応用、ファイナンス理論、信頼性理論、ゲーム理論などである。また研究者間の交流を深め、情報交換する場を与えている。	金沢大学 富山大学 福井大学
金融と投資のOR	福川忠昭 (慶応義塾大学) 中里宗敬 (東京工業大学)	24 名	10 回	金融・投資に関連するさまざまな問題に対する数理モデルや情報システムについての研究発表会を開催し、財務理論家や金融工学者・技術者と金融諸機関の実務家との相互交流、情報交換の機会を提供している。	東京工業大学
情報システムの戦略的活用	辻 新六 (神戸商科大学) 有馬昌宏 (神戸商科大学)	26 名	9 回	経営と情報システムの関わり、情報技術の進展の現状と動向、情報技術が組織におよぼす影響、大学や企業における情報教育のあり方などについて、研究者と実務家による発表と議論を通じて相互の理解を深め、これまでの成果をもとに分科会を設けて、いくつかの課題を中心に研究会を引き続いて開催する。	芦大クラブ
DSSジェネレーター	権藤 元 (近畿大学) 内海良夫 (特)YS企画)	6 名	5 回	経営管理者がDSSを構築する際、どのような機能を必要としているかをアメリカで広く普及しているIFPSを利用して研究してきた。一例として、DSS設計のためのフレームワークを作成した上で、ある会社の財務計画支援システムを構築し、その有効性を検討している。	上杉経営研究所
情報ネットワークとその活用	杉野 隆 (新日鉄情報システム) 上野哲郎 (和光大学)	21 名	9 回	本年度は、情報ネットワークおよびその関連分野の理論的進展・技術的発達の研究を中心にすすめてきた。次年度は、各種産業・企業別の具体的国際ネットワークの事例研究を中心に研究会を運営する。	徳栄ビル

部 会 名	主 査 事	メンバ－	開 催	内 容	場 所
* A H P	真 鍋 龍太郎 (文 教 大 学) 桑 畑 暁 生 (電 力 中 央 研 究 所)	7 名	1 回	AHPを使って意思決定をするための方法の理論の研究の報告と適用事例の紹介を通じて、AHPの利用に対するメンバーの理解を高めた。	電力中央研究所
* 人間のグローバル経営システム	上 田 亀之助 (上田イノベーション研究所) 樋 爪 徹 (山 内 製 薬)	13 名	11 回	21世紀も間近となった現在、地球上の多くの人間集団・有機統一体・企業・個人等の相互依存関係はますます高まりつつある。そこで人類共通の人間性をもととしたグローバルな経営を研究することにした。	勤労福祉会館
* システム・シミュレーション	森 戸 晋 (早 稲 田 大 学) 中 野 一 夫 (構 造 計 画 研 究 所)	28 名	4 回	システム・シミュレーション部会の後を受けて、ORの代表的手法である離散型シミュレーションの応用と理論に関する研究発表、情報収集や交換、国際交流等を行ってきた。この1年は外国人講師の講演を含めた研究発表、「OR事例集Ⅱ」の事例収集への協力、Winter Simulation Conference との連携と協力等を軸に活動を進めてきた。	早稲田大学

## 5. 普及活動

### (1) 定例講演会

開催年月	テ ー マ	講 師	参加人数	開催地区
3年11月	人工現実の仮想空間での意思決定システムとその応用 一 製販統合システムの事例を中心として一	野 村 淳 二	10 名	中国四国
3年11月	学習における最近の話題	矢 嶋 虎 夫	11 名	九 州
3年12月	最良優先探索法による時間割スケジューリング	藤 原 祥 隆	14 名	北 海 道
4年2月	組織を創る情報、情報を活かす組織	松 永 州 司	45 名	関 西

### (2) OR企業サロン

昨年に引続き「情報化と戦略的事業展開」を統一テーマとし、梅沢豊（東京大学経済学部）、斎藤嘉博（日立製作所）をコーディネータとして開催した。今日的な経営の重要課題に関する話題を提供し、あわせて参加者相互の交流を深めることによって、大きな成果を収めた。今年度は地方支部との共催を増加し、特にセミナー・シンポジウムに組み込むという新しいこころみを行なった。（参加者延べ890人）

#### (東京開催)

開催月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加者
3. 6. 5	宅配業における物流情報ネットワーク ・ヤマト運輸輸取締役事務改善部長 関 口 隆	クロネコ「宅急便」を例として情報システムの1考え方、2実例、3効果、4課題について述べる。	102名
3. 7. 30	国際化時代におけるヤオハンの経営戦略 ・国際流通グループヤオハン代表 和 田 一 夫	90年香港に総本部を移転、グループ全体を統括、華僑人脈とM&A戦略、97年中国返還問題を話題にする。	77名
3. 9. 19	21世紀を展望するコンピュータ経営 ・松下電工幹社長 三 好 俊 夫	一貫して企画部門を歩んできたトップがこれからのコンピュータ経営について語る。	46名

開催月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加者
3. 11. 12	オムロンの情報武装化と事業展開戦略 ・オムロン(株)副会長 立石 信雄	長期ビジョンの「ゴールデン90's」実現に向けてのユーザーとしての情報武装化戦略およびメーカーとしての事業展開戦略について語る。	80名
3. 12. 6	サンリットの情報創出経営について ・(株)サンリット産業社長 小池 俊二	情報化10カ年計画に従いVAN・CIM等のサブシステムを集大成したトータルネットワーク・システムについて紹介する。	52名
4. 1. 28	セコムにおける情報化戦略と事業革新 ・セコム(株)常務取締役 木村 昌平	「サービスのシステム化」を事業コンセプトするセコムにとって情報化戦略は、すなわち事業戦略そのものであった。その経験を通じてSISとは何かを述べる。	59名
4. 3. 16	ネットワーク型組織をめざして ・NTTデータ通信(株)常務取締役 経営企画部長 立花 佑介	多様化、高度化するユーザーの情報システム化ニーズに柔軟に対応するための組織運営、情報の距離ゼロ化について語る。	65名

(地方開催)

開催月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加者
3. 5. 7	味の素の情報化のめざすもの ・味の素(株)常務取締役 伊藤 謙吉	味の素の情報化の展開過程、課題、将来構想につき人・技術・進歩・業務改善の視点より語る。	55名
	九州におけるOR ・九州産業大学教授 藤野 義一		
3. 7. 5	ソフト化時代の経営戦略 ・任天堂(株)社長 山内 溥	世界的ヒット商品を市場に送り続けている任天堂のトップ経営者が、ハードとの対比におけるソフトの考え方を中心にその経営戦略を語る。	74名
	日本人のメディア接触時間 ・(株)日立製作所 斉藤 嘉博		
3. 9. 27	SISの考え方とその実例 ・日経コンピュータ副編集長 上村 孝樹	SISの発展過程についてレビューと展望を与えた上で、代表的な具体例を解説する。	51名
	情報システム化におけるロジスティクス戦略 ・(株)日通総合研究所常務取締役 忍田 和良		
3. 10. 4	経営雑感 一企業の活性化について一 ・西日本旅客鉄道(株)会長 アサヒビール(株)会長 村井 勉	住友銀行・東洋工業(現マツダ)・アサヒビール・JR西日本各社の経営から、企業の活性化戦略について語る。	86名
	コミュニケーションとOR ・近畿大学教授 権藤 元		
3. 10. 15 (シンポジウム)	再春館のインテリジェント・テレマーケティング ・(株)再春館製薬所社長 西川 通子	6年間で売り上げ100億円を突破した再春館製薬の「顧客満足度システム」(生販一体型のインテリジェント・テレマーケティング・システム)を紹介する。	143名

6. 刊行物

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.36  
No.3 から Vol.37 No.2 まで12号(本文670ペー

ジ)を発行した。各号は特集を主とし、他にトップの視点、論文・事例研究、論文・研究レポート、連載、学生論文賞受賞論文要約、書評、研究部会報告

等を掲載した。

特集のテーマは次のとおりであった。

Vol.36 No.3「CIM要素技術の最前線」, 同 No.4「確率モデルとその周辺」, 同 No.5「地球環境問題への対応」, 同 No.6「研究開発マネジメント」, 同 No.7「ORの再挑戦」, 同 No.8「西太平洋の時代」, 同 No.9「多目的計画法」, 同 No.10「農業のOR」, 同 No.11「集団合意形成支援工学」, 同 No.12「乱数とその応用」, Vol.37 No.1「官庁におけるOR」, 同 No.2「最適化とその応用」

(2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan) Vol.34 No.1 から No.4 まで (484 ページ) を発行した。本年度の投稿論文は 59 編 (再投稿 20 編を含む) で、掲載論文は 26 編であった。

(3) 研究発表会テブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

## 7. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力

(1) 日本学術会議関連

日本学術会議経営工学研究連絡委員会 (経営工学研連) の構成学会として、引き続き委員を、また新たに同会議経営学研連の構成学会として委員を派遣し、それらの活動に協力した。

6月21日に、経営工学研連並びに関連4学会の共催による第7回シンポジウムを日本学術会議講堂において開催し、160名の参加をみた。

(2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 関連

前年度に引き続いて日本経営工学会・日本品質管理学会との協議会に代議員4名を派遣し、日本学術会議に関連する諸問題、文部省科学研究費補助金の経営工学分科新設問題、連合シンポジウムの開催等についての諸活動に参画協力した。

(3) 日本工学会関連

工学系71学協会の連合体である日本工学会の諸活動に協力し、また同会事務研究委員会に委員1名を派遣した。特に本年度は事務研副委員長として協力した。

(4) 研究ネットワーク連合委員会関連

理工系の20学協会および9学術ネットワークと協力し、学術研究の発展のためコンピュータ・コミュニケーションの有効利用を図る連合体を組織し、こ

れに委員1名を派遣した。

## 8. 国際協力

(1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) を通じて、各国のOR学会との交流、協力を図った。

(2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の事務局として、アジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会の情報交換に協力した。

(3) APORS主催の第2回国際学会 (於北京) に積極的に参加し (日本人参加者 38 名)、多数の発表を行なった。

(4) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAORの Vol. 42 No.1~6 の国内頒布に協力した。

(5) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力をした。

(6) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に積極的に協力をした。

## 9. 他学協会の交流

・合同CIMシンポジウム (日本経営工学会) と共催他学協会の下記の講演会等に協賛、後援した。

・第1回ファジィシステムセミナー (日本ファジィ学会)

・システム制御情報チュートリアル講座イーブニングスクール (I) コース「デジタル制御理論入門」 (システム制御情報学会)

・セミナー「ニューラル/ファジィの現状と今後の展望」 (システム制御情報学会)

・講習会「ファジィ・エキスパート・システム」 (日本ファジィ学会)

・講習会第2回「ファジィ制御法—理論と実際—」 (日本ファジィ学会)

・講習会「ファジィOR」 (日本ファジィ学会)

・情報理論とその応用学会第14回シンポジウム (情報理論とその応用学会)

・第7回経済経営と情報技術に関する国際会議 (日本経営情報学会)

・セミナー「化学工業におけるFA化技術—ファインケミカルから粉体まで—」 (システム制御情報学会)

・講習会「ファジィ理論と知識獲得」 (日本ファジィ

- 学会)
- システム制御情報 チュートリアル 講座'91「システム科学の基礎と応用」(システム制御情報学会)
- 第22回信頼性・保全性シンポジウム(日本科学技術連盟)
- 講習会「ファジィの基礎から実用化技術まで」(日本ファジィ学会)
- シンポジウム「高度情報化時代の情報処理技術者」(システム制御情報学会)
- システム制御情報 チュートリアル 講座イーブニング スクール(J) コース「ファジィ概念の基礎と応用」(システム制御情報学会)

- ・第8回ファジィシステムシンポジウム(日本ファジィ学会)
- ・第2回ファジィ理論と神経ネットワークに関する国際会議(同組織委員会)
- ・第3回研究部会合同シンポジウム(日本経営情報学会)
- 第11回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス(日本シミュレーション学会)
- ・第3回計算力学世界会議(国際計算力学協会日本支部・日本学術会議)
- ・第6回日本ME学会秋季大会(日本ME学会)

## 10. 支部活動

各支部ごとに次のとおり活動した。

### 支 部 活 動 報 告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 2回 幹事会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 3回	支部総会 1回 運営委員会 3回	支部総会 1回 役員会 1回 幹事会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 1回
研究会		研究会 1回	研究会 6回 研究発表会 1回	研究会 29回	研究発表会 1回 ORサロン 1回 研究部会 9回	研究会 3回
講演会	講演会 1回	講演会 1回	支部講演会 1回	研究講演会 4回 定例講演会 1回 記念講演会 1回	シンポジウム 2回 講演会 6回	講演会 4回
出版			支部ニュース 10回 研究発表会アブストラクト集 1回	支部 News letter 4回		支部ニュース 4回
その他		春季研究発表会 実行委員会 4回	見学会 1回	秋季研究発表会 実行委員会	支部セミナー 1回 (4日間)	見学会 1回

## 11. 表彰

- 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞  
第20回文献賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。
  - Approximations for the Waiting Time in the GI/G/s Queue, Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.34, No.2 木村俊一(北海道大学)
  - Second Order Necessary Optimality Condi-

tions for Minimizing a Sup-type Function  
Mathematical Programming Vol.49, No.2

川崎英文(九州大学)

- 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞  
第17回普及賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。
  - イ. 小田部齊(共栄工業)
  - ロ. 原野秀永(東芝アドバンスシステム)
- 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第16回実施賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

㈱構造計画研究所代表取締役社長 富野 壽  
(4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

第12回事例研究奨励賞の選考および第7回事例研究奨励賞ソフトウェア部門の選考を行ない、下記のとおり決定した。

第12回事例研究奨励賞

• 最適クラス編成問題

—東京工業大学におけるケース・スタディー

オペレーションズ・リサーチ Vol.36, No.2

今野 浩, 朱 喆 (東京工業大学)

第7回事例研究奨励賞ソフトウェア部門

• CAMP：順序づけ分枝限定アルゴリズム設計支援システム

関口恭毅 (北海道大学)

• 行列演算用言語 LAMAX-S (PC98版)

内田智史 (神奈川大学), 本郷 茂 (専修大学),

㈱システム計画研究所

(5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞第9回学生論文賞の選考を行ない、下記のとおり決定し、授賞を行なった。

• 非対称容量制約付き配送路決定問題の解法

石黒 勲 (東京理科大学・修士論文)

• Structure of Solution Set to Nonlinear Programs with 2 Parameters

信太正之 (東京工業大学・修士論文)

• Binary Comparison における AHP 法とその他の方法との比較

福田路子 (筑波大学・学士論文)

• 東工大の学科所属方式における学生の申告の安定性について

宮岸宏明 (東京工業大学・学士論文)

• ごみ処理施設の最適配置に関する研究

— 一時系列ARIMAモデルと混合型整数計画モデルの適用—

室谷洋一 (埼玉大学・修士論文)

## II 処務の概要

### 1. 役員に関する事項

理 事

定 数：12人から16人

任 期：2年

非常勤

現 在：16人

監 事

定 数：2人

任 期：2年

非常勤

現 在：2人

理事・監事の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登任年月日		
理事(会長)	岡 久雄	非常勤	2. 4. 26	2. 5. 29	会務の総理	三菱電機㈱常任顧問
”(副会長)	牧野 都治	”	”	”	”	東京理科大学教授
”( ” )	齋藤 嘉博	”	3. 4. 26	3. 6. 6	”	武蔵野美術大学教授
”( ” )	高井 英造	”	”	”	”	三菱石油㈱エネルギー調査部長
”(庶務)	鈴木 久敏	”	2. 4. 26	2. 5. 29	庶 務	筑波大学助教授
”( ” )	小池 清	”	3. 4. 26	3. 6. 6	”	日本アイ・ビー・エム㈱公共業務副部長
”(会計)	遠山 澄	”	2. 4. 26	2. 5. 29	会 計	日本アイ・ビー・エム㈱システムズ・エンジニアリング統括
”(研究普及)	鈴木 道夫	”	”	”	研 究 普 及	㈱電力中央研究所情報システム部長
”( ” )	中野 文平	”	3. 4. 26	3. 6. 6	”	東京工業大学助教授
”(編集)	古林 邦隆	”	2. 4. 26	2. 5. 29	論文誌編集	法政大学教授
”( ” )	若山 邦敏	”	3. 4. 26	3. 6. 6	機関誌編集	”
”(国際)	膿塚 武志	”	”	”	国 際	筑波大学教授
”(無任所)	海老名史道	”	2. 4. 26	2. 5. 29	無 任 所	三菱電機㈱海外協業推進室参事
”( ” )	福川 忠昭	”	”	”	”	慶応義塾大学教授
”( ” )	藤野 義一	”	”	”	”	九州産業大学教授
”( ” )	山本 保	”	3. 4. 26	3. 6. 6	”	東北コンピュータ・サービス㈱社長
監 事	山本 正明	”	2. 4. 26	2. 5. 29	民法59条	法政大学教授
”	三平 武男	”	3. 4. 26	3. 6. 6	”	川崎製鉄㈱情報通信事業推進部長



2. 職員に関する事項

区 分	専 任 者		備 考
	有 給 者		
	人数	左の人数の基本給 (年度末月額)	
事務職員	4人	853,400 (円)	
計	4人	853,400 (円)	

3. 会議に関する事項

(1) 通常総会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
3. 4. 26	1. 平成2年度事業報告の件 2. 平成2年度収支計算報告および 監査報告の件 3. 平成3年度事業計画の件 4. 平成3年度予算の件 5. 平成3・4年度役員選任の件 6. 名誉会員推薦の件 学会賞の発表と表彰 新フェローの紹介	承認 " " " " " "

(2) 理 事 会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
3. 5. 21	1. 第7回理事会議事録の件 2. 平成2年度評議員会議事録の件 3. 平成3年度通常総会議事録の件 4. 入退会承認の件 5. 平成3年度秋季研究発表会予算 (案)の件 6. CEMIT-CECOIA3協 賛の件 7. 平成3年度委員会委員・幹事委 嘱の件 8. 各委員会報告(含、今年度の運 営方針)	承認 " " " " " " "
3. 7. 16	1. 第1回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 第1/四半期収支概算報告の件 4. 春季研究発表会・第25回シンポ ジウム終了報告の件 5. 秋季第26回シンポジウム収支予 算の件 6. 研連シンポジウム終了の件 7. OR企業サロン開催の件 8. 平成4年度春季研究発表会実行 委員の件	承認 " " 了承 承認 了認 " 承認
3. 9. 18	1. 第2回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件	承認 "

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
	3. 平成4年度役員改選の件 4. 第9回学生論文賞推薦の件 5. 上半期収支概要報告の件 6. 平成3年度秋季研究発表会・第 26回シンポジウム中間報告の件 7. 平成4年度春季研究発表会・第 27回シンポジウム開催の件 8. 平成4年度秋季研究発表会開催 の件 9. 経営工学研連シンポジウム終了 報告の件	承認 " 了承 " 承認 " "
3. 11. 18	1. 第3回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 名誉会員推薦の件 4. APORS会長候補推薦の件 5. 秋季支部長会議終了報告の件 6. 平成4年度事業計画(案)およ び予算(案)編成方針の件 7. 特定公益増進法人の件 8. 第26回シンポジウム収支決算の 件 9. 平成3年度定例講演会、セミナ ー開催の件	承認 " " " 了承 承認 了承 承認 "
4. 1. 21	1. 第4回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 平成2・3年度会費未納者(除 名対象者)の件 4. 会長候補者選考委員会報告の件 5. 第3/四半期収支報告の件 研究部会の新設ならびに継続の 件 秋季研究発表会およびRAMP シンポジウム収支決算報告の件 平成4年度事業計画案ならびに 予算案の件	承認 " " 了承 承認 " "
4. 3. 17	1. 第5回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. フェロー推薦の件 4. 平成4・5年度役員候補者の件 5. 平成4・5年度評議員候補者の 件 6. 各委員会報告 学会賞受賞候補推薦の件 平成3年度研究部会・グループ 終了/経過報告の件 平成4年度シンポジウム・春季 研究発表会中間報告の件 平成3年度事業報告(案)およ び収支見込の件 平成4年度事業計画(案)およ び収支予算(案)の件 春季支部長会議開催の件など	承認 " " 了承 " 承認 " 了承 承認 "

開催年月日	議 事 事 項	結 果
4. 4. 10	1. 第6回理事会議事録の件 2. 平成3年度事業報告の件 3. 平成3年度収支計算報告および監査報告の件 4. 平成4年度事業計画の件 5. 平成4年度収支予算の件 6. 平成4・5年度役員候補者選任の件 7. 平成4・5年度評議員候補者選任の件 8. 委員会等からの報告	承認 " " " " " " "

(3) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
4. 4. 10	1. 平成3年度事業報告の件 2. 平成3年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成4年度事業計画の件 4. 平成4年度収支予算の件 5. 平成4・5年度役員候補者選任の件 6. 平成4・5年度評議員候補者選任の件 7. その他	承認 " " " " " "

(4) 支部長会議

支部長会議は5月（北九州）と10月（大阪）の2回開催し、OR学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を行なった。

(5) 委員会・幹事会

● 常設委員会

- OR誌編集委員会 13回
- 研究普及委員会 8回
- 研究小委員会 1回
- 普及小委員会 6回
- JORSJ編集委員会 2回
- 国際委員会 3回
- 表彰委員会 5回
- IAOR委員会 3回

● その他の委員会・幹事会

- フェロー会議 1回
- 研究部会主査会議 1回
- O化委員会 2回
- 会員増強委員会 2回
- 庶務幹事会 7回
- 企業サロン企画委員会 6回
- 財政問題検討委員会 7回

副会長会議

2回

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄付金に関する事項

該当なし

7. 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

8. 会員状況

(1) 入退会内訳

	名誉 会員	正 会員	学 生 会 員	賛 助 会 員		合 計	
				A 種	B 種		
平成3年2月末日	72,559	160	161(192)	37(37)		2,924	
平成 2 年 度	入 会	103	83	16(18)	13(13)	215	
	移 学→正		48△48				
	正→学						
	正→名	2△2					
	退 会		△98	△7	△9(9)	△2(2)	△116
	除 名		△33	△6			△39
	復 活		2		1(1)		3
増 口							
純 増 減	2	20	22	8(10)	11(11)	63	
平成4年2月末日	92,579	182	169(202)	48(48)		2,987	

( ) は口数

(2) 地域別内訳

	名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員	
				A 種	B 種
本 部	7	1,571	125	116(145)	24(24)
北 海 道		79	1	3(3)	1(1)
東 北		75	3	6(7)	
中 部	1	217	11	12(12)	
関 西	1	353	35	19(20)	9(9)
中国・四国		148	5	5(7)	4(4)
九 州		136	2	8(8)	10(10)
合 計	9	2,579	182	169(202)	48(48)

( ) は口数

**平成3年度収支計算書****収支計算総括表**

(平成3年3月1日から平成4年2月29日まで)

(単位：円)

1) 収入の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 会 研 究	I F O R S 会 議
基本財産運用収入	304,000	304,000	0	0
入会金収入	173,400	173,400	0	0
会費収入	54,700,400	54,700,400	0	0
事業収入	15,096,657	15,074,657	22,000	0
参加費収入	3,027,000	0	3,027,000	0
寄付金収入	0	0	0	0
雑収入	9,968,812	9,736,971	227,833	4,008
当期収入合計	83,270,269	79,989,428	3,276,833	4,008
前期繰越収支差額	23,469,453	17,284,283	5,930,780	254,390
収入合計	106,739,722	97,273,711	9,207,613	258,398
2) 支出の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 会 研 究	I F O R S 会 議
管理費	26,501,192	26,497,690	3,502	0
事業費	57,089,416	52,909,456	4,179,960	0
当期支出合計	83,590,608	79,407,146	4,183,462	0
当期収支差額	△ 320,339	582,282	△ 906,629	4,008
次期繰越収支差額	23,149,114	17,866,565	5,024,151	258,398
支出合計	106,739,722	97,273,711	9,207,613	258,398

**収支計算書**

(平成3年3月1日から平成4年2月29日まで)

**1. 一般会計**

(単位：円)

1) 収入の部					
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
基本財産運用収入	基本財産利息収入		200,000	304,000	104,000
入会金収入		正会員入会金収入	170,000	123,600	△ 46,400

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
会 費 収 入	学生会員入会金収入		40,000	49,800	9,800	
	正 会 員 会 費 収 入		30,250,000	31,211,200	961,200	
	学 生 会 員 会 費 収 入		1,050,000	1,139,200	89,200	
	賛 助 会 員 会 費 収 入		22,600,000	22,350,000	△ 250,000	
事 業 収 入	会 誌 頒 布 金 収 入		8,400,000	8,943,321	543,321	
	研 究 発 表 会 収 入		3,300,000	4,246,076	946,076	
	講 演 会 収 入		380,000	479,000	99,000	
	講 習 会 収 入		850,000	0	△ 850,000	
	資 料 等 頒 布 収 入		250,000	133,760	△ 116,240	
	I A O R 収 入		400,000	476,500	△ 76,500	
	E J O R 収 入		500,000	644,000	144,000	
	A P J O R 収 入		130,000	152,000	22,000	
	受 託 研 究 収 入		0	0	0	
	雑 収 入	廣 告 収 入		4,500,000	4,890,800	390,800
受 取 利 息		2,000,000	3,787,762	1,787,762		
名 簿 収 入		300,000	276,000	△ 24,000		
雑 収 入		500,000	782,409	282,409		
退 職 給 与 引 当 金 取 崩 収 入		800,000	0	△ 800,000		
表 彰 事 業 引 当 金 取 崩 収 入		500,000	0	△ 500,000		
国 際 協 力 引 当 金 取 崩 収 入		500,000	0	△ 500,000		
O A 化 引 当 金 取 崩 収 入		500,000	0	△ 500,000		
名 簿 作 成 引 当 金 取 崩 収 入		0	0	0		
別 途 引 当 金 取 崩 収 入		2,103,000	0	△ 2,103,000		
当 期 収 入 合 計			80,223,000	79,989,428	△ 233,572	
前 期 繰 越 収 支 差 額			17,284,283	17,284,283	0	
収 入 合 計			97,507,283	97,273,711	△ 233,572	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費	家 賃		3,000,000	2,916,000	84,000	
	共 益	費	1,250,000	1,212,000	38,000	
		務 用 品	費	800,000	117,605	682,395
	事 務	議 費	800,000	845,507	△ 45,507	
		旅 費 交 通	費	1,900,000	1,850,390	49,610
	通 信	費	1,500,000	1,650,542	△ 150,542	
		刷	費	400,000	644,716	△ 244,716
	消 耗 品	費	500,000	437,028	62,972	
		O A 化 準 備	費	300,000	341,445	△ 41,445
	リ	—	ス 料	200,000	178,272	21,728

勘定科目			予算額	決算額	差異	
大科目	中科目	小科目				
事業費	修繕費		100,000	132,530	△ 32,530	
	給料手当		9,950,000	10,086,210	△ 136,210	
	福利厚生費		2,000,000	2,027,352	△ 27,352	
	臨時雇賃金		1,500,000	1,237,935	262,065	
	退職職金		800,000	793,800	6,200	
	保険料		100,000	79,080	20,920	
	負担金		90,000	78,500	11,500	
	支払手数料		150,000	143,155	6,845	
	租税公課		60,000	54,800	5,200	
	退職給与引当金繰入		200,000	200,000	0	
	敷金引当金繰入		0	200,000	△ 200,000	
	雑費		300,000	232,023	67,977	
	損金		1,000,000	1,038,800	△ 38,800	
	研究会費					
		開催費		2,250,000	2,956,318	△ 706,318
		印刷費		1,050,000	1,266,928	△ 216,928
	印刷製本費					
		機関誌		14,800,000	13,109,737	1,690,263
		論文誌		3,800,000	2,199,569	1,600,431
		報文集		100,000	0	100,000
		印刷費		50,000	23,853	26,147
	国際協力費					
		I FORS会費		400,000	437,846	△ 37,846
		I AOR購入費		400,000	101,890	298,110
		E J O R購入費		600,000	750,715	△ 150,715
		A P J O R購入費		150,000	115,468	34,532
		A P O R S関係費		500,000	182,614	317,386
	研究活動費					
		講演会開催費		350,000	382,379	△ 32,379
		講習会開催費		420,000	35,005	384,995
		O R企業サロン		2,500,000	2,664,755	△ 164,755
		研究部会費		850,000	750,000	100,000
		支部費		2,900,000	2,882,600	17,400
	表彰事業費			300,000	279,732	20,268
	会議費			655,000	485,472	169,528
	旅費交通費			1,300,000	1,070,320	229,680
	通信運搬費			4,700,000	4,840,188	△ 140,188
	諸謝金			1,400,000	1,222,000	178,000
	給料手当			9,950,000	10,086,209	△ 136,209
	編集校正費			1,848,000	1,848,000	0
消耗品費			1,200,000	1,042,848	157,152	
F M E S・研連関係費			200,000	133,510	66,490	
記念事業引当金繰入			200,000	500,000	△ 300,000	
国際協力引当金繰入			0	1,000,000	△ 1,000,000	

勘定科目			予算額	決算額	差異
大科目	中科目	小科目			
予備費	表彰事業引当金繰入		0	300,000	△ 300,000
	OA化引当金繰入		0	500,000	△ 500,000
	OR事典・事例集出版引当金繰入			500,000	△ 500,000
	別途引当金繰入		0	1,200,000	△ 1,200,000
	雑費		50,000	41,500	8,500
当期支出合計			80,223,000	79,407,146	815,854
当期収支差額			0	582,282	△ 582,282
次期繰越収支差額			17,284,283	17,866,565	
支出合計			97,507,283	97,273,711	233,572

## 2. 特別会計

### (1) 数理計画法研究会

勘定科目			予算額	決算額	差異
大科目	中科目	小科目			
1) 収入の部					
事業収入	参加費収入		900,000	3,027,000	2,127,000
	資料等頒布収入		50,000	22,000	△ 28,000
	展示収入		0	0	0
雑収入	広告収入		0	0	0
	受取利息収入		200,000	227,833	27,833
	雑収入		0	0	0
当期収入合計			1,150,000	3,276,833	2,126,833
前期繰越差額			5,930,780	5,930,780	0
収入合計			7,080,780	9,207,613	2,126,833

勘定科目			予算額	決算額	差異
大科目	中科目	小科目			
2) 支出の部					
管理費	支払手数料		0	3,502	△ 3,502
	租税公課		0	0	0
事業費	貸借料		300,000	308,749	△ 8,749
	会議費		600,000	1,611,370	△ 1,011,370
	旅費交通費		200,000	358,500	△ 158,500
	通信運搬費		100,000	70,668	29,332
	印刷費		500,000	430,540	69,460

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
	消 耗 品 費		50,000	62,134	△ 12,134
	臨 時 雇 賃 金		100,000	359,000	△ 259,000
	研 究 助 成 事 業 費		600,000	815,000	△ 215,000
	謝 金		0	99,999	△ 99,999
	雑 費		0	64,000	△ 64,000
	損 金		0	0	0
当 期 支 出 合 計			2,450,000	4,183,462	△ 1,733,462
当 期 収 支 差 額			△ 1,300,000	△ 906,629	△ 393,371
次 期 繰 越 収 支 差 額			4,630,780	5,024,151	△ 393,371
支 出 合 計			7,080,780	9,207,613	△ 2,126,833

(2) IFORS 会議 (IFORS '90+CECOIA 2 国際会議派遣)

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
事 業 収 入					
	参 加 費 収 入		0	0	0
雑 収 入					
	受 取 利 息 収 入		0	4,008	4,008
当 期 収 入 合 計			0	4,008	4,008
前 期 繰 越 収 支 差 額			254,390	254,390	0
収 入 合 計			254,390	258,398	4,008

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
管 理 費					
	事 務 管 理 費 (一般会計繰入)		0	0	0
事 業 費					
	登 録 費		0	0	0
	旅 費 交 通 費		0	0	0
	視 察 関 係 費		0	0	0
	印 刷 費		254,390	0	254,390
	会 議 費		0	0	0
	雑 費		0	0	0
当 期 支 出 合 計			254,390	0	254,390
当 期 収 支 差 額			0	4,008	△ 4,008
次 期 繰 越 収 支 差 額			0	258,398	△ 258,398
支 出 合 計			254,390	258,398	△ 4,008

貸借対照表総括表

平成4年2月29日

(単位：円)

1) 資産の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I F O R S 会 議
流動資産合計	96,438,780	90,693,735	5,024,151	720,894
固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0	0
資 産 合 計	97,638,780	91,893,735	5,024,151	720,894
2) 負債の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I F O R S 会 議
流動負債合計	36,819,374	36,819,374	0	0
固定負債合計	32,928,690	32,207,796	0	720,894
負 債 合 計	69,748,064	69,027,170	0	720,894
3) 正味財産の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I F O R S 会 議
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0	0
剰 余 金	22,890,716	17,866,565	5,024,151	0
正味財産合計	27,890,716	22,866,565	5,024,151	0
負債および正味財産合計	97,638,780	91,893,735	5,024,151	720,894

貸借対照表

平成4年2月29日

1. 一般会計

(1) 資産の部

勘定科目		金 額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	81,478,021	
	有価証券	8,000,000	
	未収金	1,044,570	
	前払金	171,144	
流動資産合計			90,693,735
その他の固定資産	敷 金	1,200,000	
その他の固定資産合計			1,200,000
資 産 合 計			91,893,735

(2) 負債の部

勘定科目		金 額	
大科目	中科目		
流動負債	預り金	459,414	
	未払金	0	
	前受金	36,359,960	
流動負債合計			36,819,374
固定負債	退職給与引当金	2,602,508	
	敷金引当金	3,221,640	
	名簿引当金	500,000	
	国際協力引当金	5,817,106	
	記念事業引当金	3,200,000	
	表彰事業引当金	2,260,000	
	OA化引当金	2,500,000	
	OR事典等引当金	500,000	
	別途引当金	11,606,542	
	固定負債合計		
負 債 合 計			69,027,170



## (3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金	基本金		5,000,000
剰余金	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	17,866,565 (582,282)	
剰余金合計			17,866,565
正味財産合計			22,866,565
負債および正味財産合計			91,893,735

## 2. 特別会計(数理計画法研究会)

## (1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	4,381,441	
	仮払金	642,710	
流動資産合計			5,024,151
有形固定資産		0	
有形固定資産合計			0
資産合計			5,024,151

## (2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債		0	
流動負債合計			0
固定負債		0	
固定負債合計			0
負債合計			0

## (3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金	基本金		0
剰余金	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	5,024,151 (△906,629)	
剰余金合計			5,024,151
正味財産合計			5,024,151
負債および正味財産合計			5,024,151

## 3. 特別会計(IFORS会議)

## (1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金		720,894
流動資産合計			720,894
資産合計			720,894

## (2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
固定負債	IFORS特別 会計積立金		720,894
固定負債合計			720,894
負債合計			720,894

## 財産目録

平成4年2月29日

## 1. 一般会計

		金額	
(資産の部)			
I. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金			
	現金手許有高	1,042,630	
(2) 振替貯金			
	東京振替貯金局	3,424,342	
(3) 当座預金			
	第一勧業銀行八重洲口支店	200,224	
	住友銀行白山支店	5,731	
(4) 普通預金			
	第一勧業銀行八重洲口支店	8,489,177	
	住友銀行白山支店	3,563,920	
	三菱銀行千駄木支店	4,601,997	
(5) 定期預金			
	第一勧業銀行八重洲口支店	28,000,000	
	住友銀行白山支店	11,150,000	
	三菱銀行千駄木支店	21,000,000	
2. 有価証券(利付債券)			
	日本長期信用銀行本店	8,000,000	

3. 未収金 3年度会費他	1,044,570	90,693,735
4. 前払金 論文誌抜刷代他	171,144	
II その他の固定資産 敷金	1,200,000	1,200,000
資産合計		91,893,735

2. 仮払金	642,710	5,024,151
II. 有形固定資産	0	0
資産合計		5,024,151
(負債の部)		
I. 流動負債	0	0
II. 固定負債	0	0
負債合計		0
正味財産		5,024,151

	金額	
(負債の部)		
I. 流動負債		
1. 預り金 職員に対する源泉所得 税他	459,414	36,819,374
2. 未払金 抜刷代他	0	
3. 前受金 平成3年度会費前受 他	36,359,960	
II. 固定負債		
1. 退職給与引当金	2,602,508	32,207,796
2. 敷金引当金	3,221,640	
3. 名簿引当金	500,000	
4. 国際協力引当金	5,817,106	
5. 記念事業引当金	3,200,000	
6. 表彰事業引当金	2,260,000	
7. OA化引当金	2,500,000	
8. OR事典等引当金	500,000	
9. 別途引当金	11,606,542	
負債合計		69,027,170
正味財産		22,866,565

注：基本財産たる資産

定期預金(第一勧業銀行八重洲口支店) 5,000,000

## 2. 特別会計 (数理計画法研究会)

	金額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金 現金手許有高	0	3,373,710
(2) 普通預金 第一勧業銀行八重 洲口支店	1,007,731	
(3) 定期預金 第一勧業銀行八重 洲口支店	3,373,710	

## 3. 特別会計 (IFORS会議)

	金額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 定期預金 三菱銀行千駄木支 店	462,496	720,894
(2) 普通預金 三菱銀行千駄木支 店	258,398	
II. 有形固定資産	0	0
資産合計		720,894
(負債の部)		
I. 流動負債	0	0
II. 固定負債 IFORS特別会計積 立金	720,894	720,894
負債合計	720,894	720,894

(第3号議案)

## 平成4年度事業計画

創立30周年長期計画の主要活動方針である

- (1) 「ORの実学への回帰」の実践
- (2) 「ORは役に立つ」ことの周知への努力

をふまえ、平成4年度事業計画は、昨年度に引き続き学会内の分野交流の促進、他学協会との連携の強化を図るなど、ORの普及や実践の活動を従来以上に推進することを基本とする。

平成4年度における計画の概要は次のとおりである。

### 1. 研究発表会

研究発表会を春秋2回開催する。

- (1) 春季研究発表会

期日：5月13日、14日(見学会は15日)

場所：仙台市仙台市民会館  
特別テーマ：来たるべき高度技術社会の展望

- (2) 秋季研究発表会  
期日：9月9日, 10日 (見学会は11日)  
場所：工学院大学新宿校舎  
特別テーマ：ORの再挑戦

## 2. シンポジウム

シンポジウムを2回開催する。

- (1) 第27回シンポジウム  
期日：5月12日  
場所：仙台市仙台市民会館  
テーマ：ビジネスロジスティクスシステムの構築  
に向けて
- (2) 第28回シンポジウム  
期日：9月8日  
場所：工学院大学新宿校舎  
テーマ：地球環境問題を探る

## 3. 研究部会・研究グループ/特設研究部会活動

- (1) 研究部会  
次の18研究部会を設置する。
- ア 常設 (2研究部会)  
「待ち行列」  
主査：紀 一誠 (日本電気㈱C&C研究所)  
「OR/MSとシステムマネジメント」  
主査：松田武彦 (産能大学)
- イ 継続 (9研究部会)  
「OR広報」 主査：森村英典 (筑波大学)  
「最適化とその応用」  
主査：加藤直樹 (神戸商科大学)  
「確率モデルにおける最適化」  
主査：木島正明 (筑波大学)  
「ORの計算環境」  
主査：関口恭毅 (北海道大学)  
「最適化モデルとその周辺」  
主査：久志本茂 (金沢大学)  
「金融と投資のOR」  
主査：福川忠昭 (慶応義塾大学)  
「情報システムの戦略的活用」  
主査：辻 新六 (神戸商科大学)  
「DSSジェネレーター」  
主査：権藤 元 (近畿大学)  
「情報ネットワークとその活用」  
主査：杉野 隆 (新日鉄情報通信システム㈱)

- ウ 新設 (6研究部会)  
「システムモデリング手法とその活用」  
主査：時永祥三 (九州大学)  
「CIM環境下における生産計画と  
スケジューリング」  
主査：黒田 充 (青山学院大学)  
「交通政策とOR」  
主査：野末尚次 (助鉄道総合技術研究所)  
「巨大プロジェクトに関するOR」  
主査：柳井 浩 (慶応義塾大学)  
「データ解析とOR」  
主査：田中謙輔 (新潟大学)  
「OR基本問題」 主査：梅沢 豊 (東京大学)
- エ 年度途中から1つを限度として研究部会の発足を認める。
- (2) 研究グループ  
次の3研究グループを設置する。
- ア 継続 (2研究グループ)  
「人間的グローバル経営システム」  
主査：上田亀之助 (㈱上田イノベーション研究所)  
「システム・シミュレーション」  
主査：森戸 晋 (早稲田大学)
- イ 新設 (1研究グループ)  
「動的計画法」  
主査：小田中敏男 (北海道情報大学)
- (3) 特設部会  
「数理計画法研究会」  
主査：今野 浩 (東京工業大学)

## 4. 普及活動, 会員増強活動

- (1) 研究意欲の増進, 最新知識情報の吸収を意図し講演会開催の積極化を図る。(本部3回, 支部6回)
- (2) 学会の役割を内外にアピールするという広報活動の一環としての位置づけに配慮しセミナー(講習会)の開催回数を増加する。(1回→3回)
- (3) 賛助会員の増強を図るとともに支部活動の活性化に寄与するため, OR企業サロンを開催する(10回のうち5回は地方)
- (4) 会員増強活動の推進
- (5) その他学会活動の広報

## 5. 刊行物

次の刊行物を発行する。

- (1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」(12号)
- (2) 論文誌「Journal of the Operations Research

Society of Japan」(4号)

- (3) 研究発表会アブストラクト集 (2回)
  - (4) シンポジウム予稿集 (2回)・セミナー テキスト (3回)
  - (5) 会員名簿
6. 日本学術会議および他学協会との連携・協力
- (1) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会および同会議経営学研究連絡委員会の活動に協力する。
  - (2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) に代議員を派遣し、その活動に参画する。
  - (3) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会ならびに(独)日本オペレーションズ・リサーチ学会、(独)日本品質管理学会、(独)日本経営工学会、および日本開発工学会が共催する第8回シンポジウムに参画する。  
期日：6月19日(金)  
場所：日本学術会議講堂  
テーマ：人と経営工学
  - (4) (独)日本工学会に理事会に理事を派遣するとともに同学会に設置されている事務研究委員会に事務局長を委員として派遣し、その運営に協力する。
  - (5) (独)日本工学会の活動に協力し、その他関連学協会との交流を積極的に進める。
  - (6) 研究ネットワーク連合委員会に理事を委員として派遣し、同委員会の運営に協力する。
7. 国際協力・交流
- (1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) を通じて、各国のOR学会との交流、協力を図る。
  - (2) APORS (Association of Asian-Pacific Oper-

ational Research Societies) の事務局担当かつ会長選出学会として、第3回APORS 国際会議(1994)の日本開催準備をするとともに、アジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会間の情報交換に積極的に協力する。

- (3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAORの国内頒布に協力する。
  - (4) APJOR (Asia Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力する。
  - (5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に積極的に協力する。
  - (6) 海外からのOR関係来訪者に応接する。
  - (7) 経済・経営と情報技術国際会議92 (C.E.M.I.T. 92) 8月31日～9月4日開催に協賛する。
  - (8) 第13回IFORS大会 (IFORS93, Lisbon) への視察団派遣のための準備を進める。
8. 支部活動
- 各支部において、研究会、講演会、見学会等を企画し実施する。
9. 表彰
- 文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞(ソフトウェア部門賞を含む)および学生論文賞の選考・表彰を行なう。
10. その他
- 財政基盤の安定化に努めるとともに、事務局のOA化に配慮する。

(第4号議案)

## 平成4年度収支予算書

### 収支予算書総括表

(平成4年3月1日から平成5年2月28日まで)

(単位：円)

1) 収入の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	IFORS会議
基本財産運用収入	200,000	200,000	0	0
入金会費収入	203,000	203,000	0	0
会費収入	54,410,000	54,410,000	0	0
事業収入	19,810,000	16,760,000	3,050,000	0
雑収入	13,347,000	13,147,000	200,000	0

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I F O R S 会 議
当 期 収 入 合 計	87,970,000	84,720,000	3,250,000	0
前 期 繰 越 収 支 差 額	23,149,114	17,866,565	5,024,151	258,398
収 入 合 計	111,119,114	102,586,565	8,274,151	258,398

2) 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	I F O R S 会 議
管 理 費	31,668,398	27,360,000	0	0
事 業 費	61,668,398	57,360,000	4,050,000	258,398
当 期 支 出 合 計	89,028,398	84,720,000	4,050,000	258,398
当 期 収 支 差 額	△ 1,058,398	0	△ 800,000	△ 258,398
次 期 繰 越 収 支 差 額	22,090,716	17,866,565	4,224,151	0
支 出 合 計	111,119,114	102,586,565	8,274,151	258,398

収 支 予 算 書

(平成4年3月1日から平成5年2月28日まで)

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入	基本財産利息収入		200,000	200,000		0
入会金収入	正会員入会金収入		160,000	170,000	△	10,000
	学生会員入会金収入		43,000	40,000		3,000
会費収入	正会員会費収入		30,300,000	30,250,000		50,000
	学生会員会費収入		1,210,000	1,050,000		160,000
	賛助会員会費収入		22,900,000	22,600,000		300,000
事業収入	会誌頒布収入		8,400,000	8,400,000		0
	研究発表会収入		3,820,000	3,300,000		520,000
	講演会収入		560,000	380,000		180,000
	講習会収入		2,440,000	850,000		1,590,000
	資料等頒布収入		100,000	250,000	△	150,000
	I A O R 収入		540,000	400,000		140,000
	E J O R 収入		750,000	500,000		250,000
	A P J O R 収入		150,000	130,000		20,000
雑収入	広告収入		5,000,000	4,500,000		500,000
	受取利息		2,000,000	2,000,000		0

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減
大科目	中科目	小科目			
	名簿収入		1,300,000	300,000	1,000,000
	雑収入		500,000	500,000	0
	退職給与引当金取崩収入		0	800,000	△ 800,000
	表彰事業引当金取崩収入		400,000	500,000	△ 100,000
	国際協力引当金取崩収入		800,000	500,000	300,000
	O A化引当金取崩収入		300,000	500,000	△ 200,000
	名簿作成引当金取崩収入		500,000	0	500,000
	別途引当金取崩収入		2,347,000	2,103,000	244,000
当期収入合計			84,720,000	80,223,000	4,497,000
前期繰越収支差額			17,866,565	17,284,283	582,282
収入合計			102,586,565	97,507,283	5,079,282

2) 支出の部

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減
大科目	中科目	小科目			
管理費					
	家賃		3,500,000	3,000,000	△ 500,000
	共益		1,250,000	1,250,000	0
	事務用品		500,000	800,000	300,000
	会議		900,000	800,000	△ 100,000
	旅費		2,300,000	1,900,000	△ 400,000
	通信		1,600,000	1,500,000	△ 100,000
	印刷		500,000	400,000	△ 100,000
	消耗品		500,000	500,000	0
	O A化準備		300,000	300,000	0
	リース		200,000	200,000	0
	繕		150,000	100,000	△ 50,000
	給料		10,710,000	9,950,000	△ 760,000
	福利厚生		2,200,000	2,000,000	△ 200,000
	臨時雇賃		1,300,000	1,500,000	200,000
	退職		0	800,000	800,000
	保険		100,000	100,000	0
	負担		90,000	90,000	0
	支払手数		150,000	150,000	0
	租税公課		60,000	60,000	0
	退職給与引当金繰入		200,000	200,000	0
	雑		250,000	300,000	50,000
	損		600,000	1,000,000	400,000
事業費					
	研究発表				
		開催	2,500,000	2,250,000	△ 250,000
		印刷	1,320,000	1,050,000	△ 270,000
	印刷製本				
		機関誌	14,800,000	14,800,000	0

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
予 備 費	国 際 協 力 費	論 文 誌	4,300,000	3,800,000	△ 500,000	
		報 文 集	100,000	100,000	0	
		印 刷 費	50,000	50,000	0	
		I F O R S 会 費	500,000	400,000	△ 100,000	
		I A O R 購 入 費	400,000	400,000	0	
		E J O R 購 入 費	750,000	600,000	△ 150,000	
		A P J O R 購 入 費	120,000	150,000	30,000	
		A P O R S 関 係 費	500,000	500,000	0	
		研 究 活 動 費	講 演 会 開 催 費	660,000	350,000	△ 310,000
	講 習 会 開 催 費		1,200,000	420,000	△ 780,000	
	O R 企 業 サ ロ ン		2,500,000	2,500,000	0	
	研 究 部 会 費		900,000	850,000	△ 50,000	
	支 部 費		3,100,000	2,900,000	△ 200,000	
	表 彰 事 業 費		400,000	300,000	△ 100,000	
	会 費 議 通 費		550,000	655,000	105,000	
	旅 交 通 費		1,300,000	1,300,000	0	
	通 信 運 搬 費		4,700,000	4,700,000	0	
	諸 謝 金		1,300,000	1,400,000	100,000	
	子 備 費	給 料 手 当	10,710,000	9,950,000	△ 760,000	
		編 集 校 正 費	2,000,000	1,848,000	△ 152,000	
		消 耗 品 費	1,200,000	1,200,000	0	
		O R 事 例 集	0	400,000	400,000	
		F M E S ・ 研 連 関 係 費	150,000	200,000	50,000	
		記 念 事 業 引 当 金 繰 入	0	200,000	200,000	
		雑 費	50,000	50,000	0	
		名 簿 作 成 費	1,300,000	0	△ 1,300,000	
		当 期 支 出 合 計			84,720,000	80,223,000
当 期 収 支 差 額			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額			17,866,565	17,284,283	△ 582,282	
支 出 合 計			102,586,565	97,507,283	△ 5,079,282	

## 2. 特別会計

### (1) 数理計画法研究会

#### 1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目	中 目 科	小 科 目			
事 業 収 入	参 加 費 収 入		3,000,000	900,000	2,100,000

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
雑 収 入	資 料 等 頒 布 収 入		50,000	50,000	0
	受 取 利 息 収 入		200,000	200,000	0
当 期 収 入 合 計			3,250,000	1,150,000	2,100,000
前期繰越収支差額			5,024,151	5,930,780	△ 906,629
収 入 合 計			8,274,151	7,080,780	1,193,371

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
事 業 費	賃 借 料		300,000	300,000	0
	会 議 費		1,600,000	600,000	△ 1,000,000
	旅 費	交 通 費	350,000	200,000	△ 150,000
	通 信	運 搬 費	100,000	100,000	0
	印 刷	費	500,000	500,000	0
	消 耗 品	費	50,000	50,000	0
	臨 時 雇 賃	金	350,000	100,000	△ 250,000
	諸 謝	金	100,000	0	△ 100,000
	雑 費		100,000	0	△ 100,000
	研 究 助 成 事 業 費		600,000	600,000	0
	当 期 支 出 合 計			4,050,000	2,450,000
当 期 収 支 差 額			△ 800,000	△ 1,300,000	△ 500,000
次期繰越収支差額			4,224,151	4,630,780	△ 406,629
支 出 合 計			8,274,151	7,080,780	△ 1,193,371

(2) IFORS会議

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
事 業 収 入	参 加 費 収 入		0	0	0
雑 収 入			0	0	0
当 期 収 入 合 計			0	0	0
前期繰越収支差額			258,398	254,390	4,008
収 入 合 計			258,398	254,390	4,008



2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減
大 科 目	中 科 目	小 科 目			
管 理 費	事 務 管 理 費		0	0	0
事 業 費	登 録 費		0	0	0
	旅 費		0	0	0
	視 察 費		0	0	0
	印 刷 費		258,398	254,390	△ 4,008
	会 議 費		0	0	0
	雑 費		0	0	0
当 期 支 出 合 計			258,398	254,390	△ 4,008
当 期 収 支 差 額			0	0	0
次期繰越収支差額			0	0	0
支 出 合 計			258,398	254,390	△ 4,008

**平成4・5年度役員候補者名簿** (第5号議案)

会務役職	定数	候 補 者	備考(非改選役員)
会 長	1 (1)	伊 理 正 夫	
副 会 長	3 (1)	権 藤 元	斎 藤 嘉 博
"			高 井 英 造
庶 務	2 (1)	田 口 東	小 塚 武 志
国 際	1 (0)		腰 野 文 平
研究普及	2 (1)	香 田 正 人	中 野 山 邦
編 集	2 (1)	茨 木 俊 秀	若 山 邦
会 計	1 (1)	山 田 郁 夫	
無 任 所	4 (3)	栗 原 宏 文	山 本 保
"		藤 井 進 則	
"		伏 見 正 磐	
監 事	2 (1)	高 橋 啓 郎	三 平 武 男

( ) 内は平成4年度改選数

(第6号議案)

**平成4・5年度評議員候補者名簿**

1	青沼 龍雄	8	茨木 俊秀	15	忍田 和良
2	安達 弘之	9	海辺不二雄	16	小田部 齊
3	阿南 信博	10	梅沢 豊	17	川島幸之助
4	五十嵐 日出夫	11	大野 勝久	18	河合 一
5	石井 博昭	12	岡 久雄	19	紀 一誠
6	石堂 一成	13	岡本 行二	20	児玉 正憲
7	伊藤 忠雄	14	尾崎 俊治	21	後藤 正夫

22	後藤 義雄	39	寺岡 義伸	56	真鍋龍太郎
23	古林 隆	40	徳山 博子	57	水野 幸男
24	近藤 次郎	41	刀根 薫	58	武藤 滋夫
25	権藤 元	42	中川 暉夫	59	本告 光男
26	今野 浩	43	中野 一夫	60	元谷 靖宏
27	佐藤 馨一	44	中山 弘隆	61	森清 堯
28	澤木 勝茂	45	成久 洋之	62	森口 繁一
29	四条 忠雄	46	野島 和夫	63	森戸 晋
30	新村 秀一	47	野村 淳二	64	森村 英典
31	鈴木 宏輔	48	長谷川利治	65	柳井 浩
32	鈴木 誠道	49	鳩山由起夫	66	山下 達哉
33	須永 照雄	50	平尾 信正	67	山下 浩
34	千住 鎮雄	51	福田晋一郎	68	山田 善靖
35	反町 洋一	52	藤井 進	69	吉山 博吉
36	竹内 啓	53	藤永 靖彦	70	若林 信夫
37	田中 博	54	牧野 都治		
38	田中 庸平	55	松田 武彦		

(第7号議案)

**名 誉 会 員**

被推薦者 藤 森 謙 一  
" 山 口 襄